

埼玉県立

# 小児医療センターだより

## ●埼玉県立小児医療センター

〒330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心1番地2

Tel▷048-601-2200(代表) Fax▷048-601-2201 E-mail▷n581811@pref.saitama.lg.jp

URL▷https://www.pref.saitama.lg.jp/scm-c/index.html



### 「昭和」に開院し「平成」に新病院へ移転、「令和」の時代へ

病院長 お 小 川 きよし 潔



埼玉県立小児医療センターは昭和58年4月に開院し、平成28年12月に新病院へ移転しました。そして、5月から新しい「令和」の時代が始まりました。「昭和」から「平成」への移行とは異なり、予想以上に祝賀の雰囲気にあふれました。「令和」という単語を使用した地名や企業はないそうですが、「麗和」は浦和と密接な関係があります。「浦」は「裏」につながるために、縁起をかつぐ意味も含めて「麗和」が「浦和」の雅号として使用されてきたといわれています。県立浦和高校の同窓会や幼稚園などに「麗和」が今も使われています。

さて、小児医療センターは昨年11月末からNICUにおけるMRSAのアウトブレイクにより入院を制限せざるを得なくなり、埼玉県内の多くの医療機関に大変なご迷惑をおかけいたしました。あらためてお詫び申し上げます。この経験を今後の感染対策に生かして参りたいと考えています。

4月から新たに院内に移植センター、小児がんセンター、遺伝診療センターを設置いたしました。移植センターには移植外科を設け、自治医科大学附属病院移植外科部門の水田耕一教授をはじめとする3名のチームに来ていただき、今秋から肝臓移植を開始すべく準備を始めた所です。小児がんセンターは先進的な治療に取り組むことができるように体制をより強固なものにいたしました。また、遺伝診療センターはがんゲノム医療連携病院としての体制を作り、各種の遺伝性疾患に対する診療に役立てようとするものです。

体制を整えるだけでなく、診療内容の充実を図るため、2月に病院機能評価を受審いたしました。新病院への移転を契機にPICUの設置など診療体制を大きく変えましたが、2年が経過し安定しましたので、外部からの目で診療内容の見直しをしていただきました。病院機能評価が求める基準に合致するように1年かけて様々な業務の見直しを行いました。自分たちでは気づかなかった問題点が明らかになりました。幸い、外部委員の方々からは高い評価を受けることができ、「改善要望事項なし」という結果でした。今後も引き続き診療内容の向上をはかっています。

地域との連携という面では、1月1日付けで災害拠点病院の指定を受けることになりました。隣接しているさいたま赤十字病院が災害拠点病院であり、さいたまスーパーアリーナが避難所になることから当センターも災害拠点病院となりさいたま赤十字病院と連携することが求められてきました。また、東日本大災害や熊本地震の時に大きな問題になりましたが、災害時に新生児医療をどのように維持するかが課題となっています。平成30年12月末の時点で埼玉県には災害拠点病院が18施設ありましたが、1施設当たりの人口は40万3千人と全国平均17万4千人に比べて災害拠点病院は不足しています。小児医療の中核施設である当センターが災害拠点病院として体制を整えたことには大きな意義があり、他の災害拠点病院からも期待されています。今後は、さいたま赤十字病院やさいたま市野医師会とも連携しながら、よりしっかりと体制を整えていきたいと考えています。

今年度から働き方改革が始まりました。医師については5年間適応が猶予され、医師の働き方改革に関する検討会が3月28日に報告書をまとめました。当センターでも新病院開院時に医師の救急当直は二交代制の勤務とするなど体制を変更したところですが、まだまだ時間外勤務の問題は残されています。5年後を目指して、対策を練っていききたいと考えています。

今後も引き続き皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 埼玉県立小児医療センターだより 第14号 ご案内

- |                     |                          |
|---------------------|--------------------------|
| ○ 病院長あいさつ .....p. 1 | ○ 9 B病棟の紹介 .....p. 7     |
| ○ 診療科の紹介 .....p. 2  | ○ お知らせ                   |
| ○ 放射線科の紹介 .....p. 4 | 移植外科新設について .....p. 8     |
| ○ 栄養部の紹介 .....p. 5  | 受診の案内・病院へのアクセス .....p. 8 |
| ○ 小児歯科の紹介 .....p. 6 |                          |

# 診療科のご紹介

小児医療センターの診療科をご紹介します。今後ご支援いただきますよう  
よろしくお願いします。

## 代謝・内分泌科



副病院長  
望月 弘

## 形成外科



副病院長  
渡邊 彰二

## 放射線科



副病院長  
小熊 栄二

## 総合診療科



科長  
田中 学

## 新生児科



科長  
清水 正樹

## 代謝・内分泌科



科長  
会津 克哉

## 消化器・肝臓科



医長  
岩間 達

## 腎臓科



科長  
藤永 周一郎

## 感染免疫・アレルギー科



科長  
菅沼 栄介

## 血液・腫瘍科



科長  
康 勝好

## 遺伝科



科長  
大橋 博文

循環器科



科長  
星野 健司

神経科



科長  
浜野 晋一郎

精神科



科長  
舟橋 敬一

小児外科



科長  
川嶋 寛

心臓血管外科



科長  
野村 耕司

脳神経外科



科長  
栗原 淳

整形外科・リハビリテーション科



科長  
平良 勝章

形成外科



科長  
渡辺 あずさ

泌尿器科



医長  
大橋 研介

耳鼻咽喉科



科長  
浅沼 聡

眼科



科長  
神部 友香

皮膚科



科長  
玉城 善史郎

移植外科



センター長  
水田 耕一

小児歯科



科長  
高橋 康男

集中治療科



科長  
新津 健裕

救急診療科



科長  
植田 育也

外傷診療科



医長  
宮本 大輔

麻酔科



科長  
蔵谷 紀文

放射線科



科長  
田波 穰

臨床検査科



部長  
中澤 温子  
(病理診断科科長代理)





科長 田波 穂 科長 田波 穂

放射線科は地域医療機関の先生方と直接触れあう機会が少なく、馴染みの薄い科の一つだと思います。今回は、いつも多くの患者さんをご紹介をいただいています地域の先生方へ放射線科についてご紹介させていただきます。当院の放射線科は心臓を除く超音波検査、CT、MRI、単純X線写真、核医学検査、X線透視検査など画像診断に関わるモダリティをどのように組み合わせ、どのように検査を行っていけば最も患児に負担が少なく、より診療に有用な画像を提供できるかを考えています。写真は当院の超音波検査室ですが、天井にアニメを投影し、ご両親と一緒に検査する事により、患児の精神的負担を可能な限り減らすようにしています。

一般的に放射線科というとレポート作成が業務の中心と考えられますが、当院ではレポート作成だけでなく、新生児科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、感染免疫科、整形外科、総合診療科、消化器・肝臓科、神経科、血液・腫瘍科などと週11回のカンファレンスを行い、これと並行してPICUでのカンファレンスに毎日参加し、画像へのコメント及び必要とされる画像診断の進め方について医師達とディスカッションを行っています。さらに腫瘍に対して外科的治療と内科的治療をどのように組み合わせるかに際してはtumor boardの場においても画像を提示しています。

小児医療センターでは救急医療が拡充するのに合わせ、約4年前より放射線科でも少ないメンバーではありますが、当直体制とオンコール対応を併用し、救急医療の現場においてもMRIを含めた全ての画像診断を提供しています。画像診断には優秀な診療放射線技師の貢献と尽力が不可欠です。当院は患児に対して可能な限り侵襲を少なく、被ばくも減らしながら、診断に最適な画像を得られるよう日々努力をしています。さらに年間の症例数は少ないのですが、放射線治療の際にも診療放射線技師やチャイルド・ライフ・スペシャリストの細心で入念な準備のもと、鎮静をなるべく用いない照射を行うよう努力しています。これからも皆様と共に地域医療に貢献していきたいと考えています。



超音波検査室の様子  
～ 天井に映るアニメの映像を見ながら、リラックスした状態で検査を受けられます ～

スタッフ 小熊栄二（副病院長）、田波穂（科長）、佐藤裕美子（医長）、  
細川崇洋（医長）、阿部哲也（後期研修医、4月～9月）



栄養部長 すな おし え み こ  
砂 押 恵美子

栄養部は、患者さんの栄養管理を管理栄養士（常勤4名、非常勤3名）、フードサービスを委託職員（45名）で行っています。

### 1. 栄養相談

医師からの依頼により、成長や発達に応じた食事の進め方、様々な疾患に合わせた治療食について等、継続した指導により家庭での食事がスムーズに実践できるようサポートしています。

### 2. 栄養サポートチーム（NST）活動

NSTメンバーは医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、医事担当職員、管理栄養士で構成されています。①入院患者の栄養評価②回診、カンファレンス（1回／週）③コンサルテーション（随時）④勉強会（3回／年）⑤委員会（1回／月）が主な活動です。各々の専門性を出し合い、一人ひとりに合わせた最良の栄養支援が行える活動をめざしています。

### 3. フードサービス

入院を余儀なくされている子どもたちに、“守るべき3つの『食』”①高度専門・最新医療を支える『食』、②こどもたちをはぐくむ『食』、③いざというときの『食』をコンセプトにサービスを行っています。



安心・安全・楽しい  
食事！



伝えたい行事食



お誕生日ケーキサービス



心を込めてお届けします



栄養やお食事のことは気軽にご相談ください





科長 高橋 康男  
たか はし やす お

現在、当科は常勤歯科医師1名、非常勤歯科医師3名および非常勤歯科衛生士6名で日々の業務を行っています。患児は他科からの院内紹介での有病児・障害児が主となっています。日常行っている治療として、基本的には通法下でのう歯の治療、抜歯等の外科処置およびブラッシング指導等が中心です。また、様々な疾患を有する患児に対し、どのような対応が最良かよく考えることが必要になります。時には全身麻酔下の処置や薬物の投与鎮静法などを行います。

そして、新病院移転で新たに生じた業務は、救急診療科と集中治療科からの依頼です。交通事故等では顔面、特に口腔周囲に外傷が生じます。歯牙損傷、口腔裂創は迅速な対応が必要であり、機を逸するとその子のこれからの人生を左右しかねない事態になることもあります。集中治療科からは、歯科外来受診のための移動が困難な患児の依頼があります。多くは動揺歯の抜歯ですが、病棟往診で対応しています。

一方、昨今、小児期からの矯正治療も注目され、学校健診での歯並びについての指摘が多く見受けられるようになっています。当科でも小児矯正である咬合誘導について、処置可能な患児に対しては希望があれば行っています。なお、形成外科から依頼された口唇口蓋等の患児については非常勤の矯正歯科医が対応しています。

さらに、当科本来の重要業務である入院患児の治療前、移植前の口腔内診査や治療は血液腫瘍科や循環器科等から常時依頼がありますが、今後予想される新たな業務として、今秋から本格的に開始される肝移植の患児に対する口腔内管理も重要になってくると思われます。

このように小児病院における歯科の役割は多岐に及んでいます。しかし、発達段階にある子どもたちに関われることは、責任重大であると同時に医療従事者にとって幸せなことでもあります。

引き続き、今後とも当科に対してのご理解ご協力のほど、よろしくお願い致します。



外来歯科の受付



診察室の様子



パペットを使った歯磨き指導



歯科衛生士がやさしく、懇切丁寧に対応します

# ＜看護部紹介＞ 9B 病棟

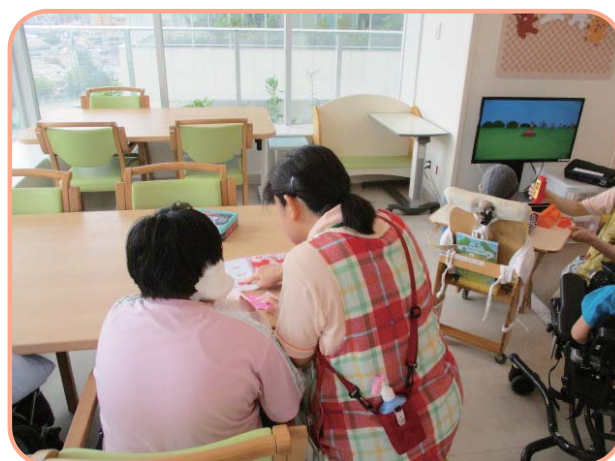
師長 <sup>そ が たか こ</sup> 曾 我 貴 子

9B病棟は、形成外科・脳神経外科・整形外科・耳鼻咽喉科・皮膚科の混合外科病棟です。口唇口蓋裂・水頭症に対する手術、先天性股関節脱臼治療や母斑・血管腫レーザー治療などを主に行い、2018年度の手術件数は782件でした。入院している患者さんは、新生児期から学童期まで幅広く、年齢や発達に応じた説明を行い、患者さんが治療や手術を頑張れるように支援しています。また、毎週各科の医師や病棟保育士・理学療法士などで多職種カンファレンスを行い、手術や治療について情報共有を行うだけでなく、術後の安静度に応じた患者さんのケアと遊びを取り入れた日常生活援助の方法などを検討し、安全に過ごせるようにしています。

患者さんが入院生活を少しでも楽しく過ごすことができ、また、患者さんとご家族が安心して頂けるように、多職種が協働し支援させていただいています。明るく元気な看護師が病棟を支えています。



病棟は明るい雰囲気です



プレイルームで年齢に合わせた遊びを行います



定期的に多職種カンファレンスを行います



病室は開放的です



## 2019年4月1日 移植センター開設

～「移植外科」を新設し、「移植センター」を開設しました～

未来ある子どもたちのために、埼玉県内外の地域医療機関では対応困難な肝移植医療を行います。  
さいたま赤十字病院と協働し、多職種と連携しながら取り組んで参ります。

肝移植医療  
希望・相談



埼玉県立小児医療センター（代表電話）048-601-2200

医療機関の先生方からお電話ください。

移植センター（移植支援室）にて状況をお聞きし予約の調整をおこないます。

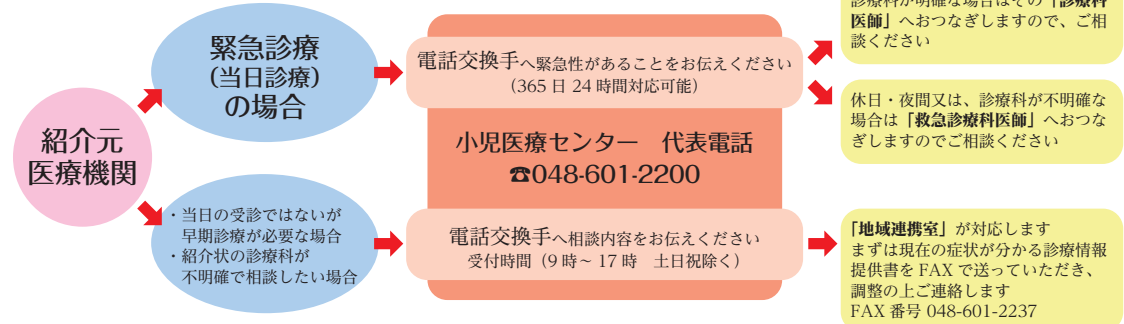
### 医療機関の皆様へ 受診のご案内



#### ①患者ご家族からのご予約



#### ②医療機関の先生からのご予約・お問い合わせ



### 病院へのアクセス



#### ■公共交通機関をご利用の方

- ・JR京浜東北線、宇都宮線、高崎線「さいたま新都心駅」から徒歩約5分
  - ・JR埼京線「北与野駅」から徒歩約6分
- ※歩行者用デッキを点線に沿ってお進みください。

#### ■お車をご利用の方

- ・駐車場は有料になります。
  - ・機械式駐車場には車両のサイズの制限があります。
- ※ご利用の時間帯によっては、車両が集中し、入庫まで大変お時間がかかることが予想されます。
- できるだけ、公共交通機関のご利用をお願いいたします。